History

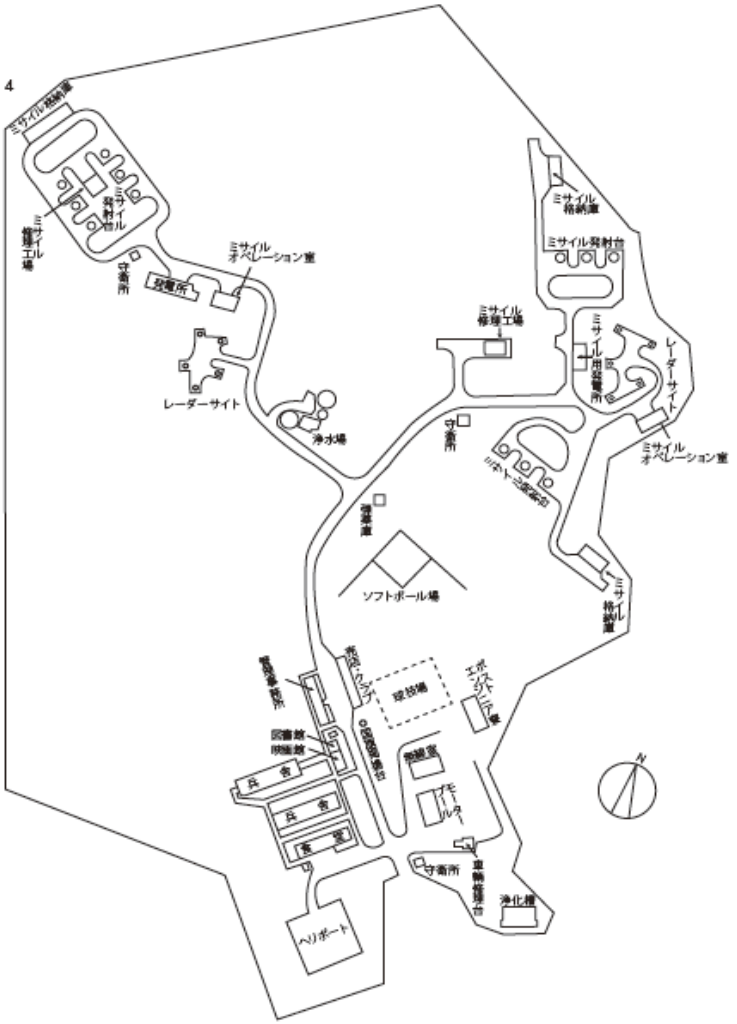
歴史

国立沖縄青少年交流の家は、昭和 47 年 5 月 15 日沖縄の本土復帰にあわせ、我が国第 10 番目の国立青年の家として、米軍のミサイル基地跡に設置されました。

開所当時はまだ基地の施設跡が至る所に残り、海洋研修場もうっそうとした海浜植物に覆われた海岸でしたが、職員を中心に村や関係機関の協力の下、利用者が安全に活動できるよう整備してきました。

1. 設置決定を祝う式典（本館施設内）
   左から玉井村長、金城所長、今村社会教育局長、
   津嘉山県教育長他青年の家職員（昭和 47 年 5 月 17 日）

2. 旧米軍基地の一部（昭和 47 年 5 月）
   現在の管理研修棟、つどいの広場

3. 旧米軍基地ミサイル発射台跡
   現在の総合グランド
   昭和 56 年 1 月まで残っていた。

4. 米軍ミサイル基地の建物配置図
   国立沖縄青年の家は昭和 47 年 5 月 15 日
   沖縄の本土復帰記念として米軍のミサイル
   基地跡に設置された。